

平成30年度国立大雪青少年交流の家第2回施設業務運営委員会
学校利用促進部会議事要旨

日時：平成30年12月11日（火）15：00～16：00

場所：国立大雪青少年交流の家 多目的研修室

運営委員出席者：川島委員、伊東委員、田中委員、新居委員、北島委員（岩間氏代理）、佐藤（正）委員

計6名

運営委員同席者：笠井委員長

計1名

大雪青少年交流の家（事務局）

出席者：是安企画指導専門職、佐藤企画指導専門職、和泉事業推進係員

計3名

（●事務局 ○委員）

●事務局

開会宣言。

資料1-1について、説明する。赤字が昨年度利用があり、今年度利用がなかった団体で、青字が新規の団体である。新規とは昨年度利用がなく今年度利用があった団体ということである。主な理由は学校の方針の変化、隔年での利用がある。中学校ではキャリア教育での活動が変わったことがある。高等学校の利用では、予算等の関係で、1泊2日になるという情報をいただいている。来年度から始めると大幅な利用者の減少があるのではと危惧している。まずここまでで、質問はあるか。

○委員

とくになし。

●事務局

次に資料1-2を説明する。今年度、施設を使用した小学校から利用の目的や満足度、教科の時数の充当についてのアンケートをまとめたものである。特に充当時数では全日程を「遠足・集団宿泊的行事」の時数に充てている学校が多い。何か質問はあるか。

○委員

とくになし。

●事務局

次に国立青少年教育振興機構の取組について資料2で説明する。

まず資料2-1は、教員経験職員が全施設から本部に集まり、教科に関連づけた体験活動プログラムを作成した案である。大雪で作成したものは、看板プログラムの登山を内容に取り入れた。内容は他の施設でも使えるようなものになっている。

しかし、北海道での宿泊研修は1泊2日が多く、教科の時数をあえて使う必要がないため、このプログラム案を利用する団体はなかった。

今後は、中学校向けの教科の時数に対応できるプログラム案を作成する予定となっている。

次に資料2-2について説明する。これはモデル校として実施した指導案である。とくに交流の家に来るまでに川の学習をすることができ、学校の中では直接見ることができないものを見ることができたことが高評価であった。

交流の家では、今後も学校のニーズをしっかりと掴み、どのように支援できるか検討し対応していくことをこれからも大事にしていく。ここで行ったほうが教育的効果が高いものを提供していきたい。

次に資料2-3について、説明する。大雪登山アンバサダー制度は、大雪のメインプログラムである登山やハイキングを多くの学校に安全に実施してもらえるよう、地域の方にガイド的ポジションをしていただくものである。現在、内諾いただいている方は大雪の元職員の方や美瑛町の役場の方、高校時代に山岳部で活動し現在施設にボランティアとして来てくれている人などである。希望予定に合う場合に限るが、活動の支援を行っていただく。来年度から稼働していきたい。

資料2-4について、全体会でも話があったが、野外炊事場ができる。年度内に野外炊事に関する資料を作成し、団体へ送付する予定である。

今までの中で、何か質問はあるか。

○委員

まず高校の宿泊について、我々のほうにはまだ何も情報が来ていない。31年度は予約しているとおりに進むと思う。

利用状況について、水戸市の利用はなぜあるのか？雪が降る前の修学旅行としてか？

●事務局

一昨年に、職員が飛び込みで営業を行い、獲得した団体である。利用としては宿泊研修である。来年度も1校であるが利用予定である。

○委員

星槎国際高校の利用があるが、結構な人数になっているのか？

●事務局

本部校や本州からも来ている。

○委員

今、通信制に行く高校生が多い。スクーリングという研修がある。一度に集まる数が多いので、利用の営業を検討してはどうか。

また広報活動について、高校の教頭会に来ていただいているが、ぜひ校長会に来て広報を行うと良い。短い時間かも知れないが、4月の3週目にある。直接校長に話せるので良いと思う。高校としては部活動での利用を促進していきたいと思う。

●事務局

承知した。検討する。

○委員

宿泊研修の会場は、実際、担当者や学年主任が決める。ちょうど1年前くらいに決めるので事前に校長会などで説明した上で、次年度宿泊研修担当者説明会を企画し、実際に来て昼食を食べるなどを経験することが良いと思う。資料を送付しても見ないと思う。時期は夏休み前くらい、または夏休みが良いと思う。

●事務局

実は、プログラム体験会は行っているがいまいち反応がない。

○委員

宿泊研修担当者に説明する会とすれば、良いと思う。泊まるまでは必要ないが日帰りで見られると良い。

●事務局

検討する。

○委員

プール活動は登山ができなかったときの荒天時プログラムとして利用したい。それが来年度以降使えないとなると、新しいプログラムを考えていかないといけなくなる。また炊事活動は家庭科の内容でメニューがあると良い。金額はどうなっているか。

●事務局

現在のところ、炊事メニューのほうがレストラン食より安くなっている。現在は、カレー、

豚汁、炊き込みご飯の3メニューとなっている。こういう情報も説明会で話せると良いと思う。

○委員

美瑛町内の学校も来ていないところもあるが、せっかくだから地元として使えればと思う。

●事務局

また全体会では、委員の方のご意見をもらう時間がなかったので、それについての意見などもお話しいただきたい。

○委員

私が思ったのは、この施設にこんな可能性がある、こんなことができるというのが周知されているのかなということである。高校の勉強合宿の利用があるが、今の高校生は外勉といって旭川駅等で勉強している人が多いので、もっと安全に効率的に勉強できるところになるのではと思う。また大雪であったら、理科の勉強ができるというようなこと、大雪できることをもっと伝えていったら、良いと思う。旭川市と上川で、教育課程を作っている。例えば、その小学校の理科の単元では、大雪に来るとこの4時間の単元が実施できると教育課程を作っている研究団体に入れてもらうなど、団体と相談したらよい。同じ管内にあるから利用しやすい組織になると面白いと思う。

何より利用した先生が広告塔になる。先生方に何がしたいか聞き、逆に先生方にこう広報してほしいと伝えると良いと思う。

○委員

利用の空室状況について、ホームページですぐ確認できるようにしておくが良い。また問い合わせもメールでできるようにし、その中にこういう活動ができるというものを見られるようにすることで、先生が考える材料になると良いと思う。バスの利用ができることを広めると良い。ただ希望が殺到した時に、どの学校にバスを出すか基準をしっかりと定める必要がある。また、バス利用の可否についてまだわからないと言われると、民間のバスにお願いしなければならない、しかも、予約を1年前にする必要があるなど大変なことがある。

またバス利用について閑散期に宿泊しなくても半日の学習ができるようにバスを運行するなど、利用促進にむけてこのようにできますと広報すると良いと思う。PTA行事等もよい。

●事務局

早めの広報や情報提供について検討していきたい。

○委員

大雪が教育施設だからというのものもあるが、活動のねらいの中に、防災や災害に備えるというプラスアルファの気づきを与えられるようなプログラムがあると良い。大雪ならではのスケールの大きな活動があると良い。例えば、野外炊事の仕方がよくあるものであると感じる。ロケットストーブを簡単に作って、炊事ができるなど。アイデアを広げられたら良いと思う。

○委員

限られた予算で苦勞されているのが感じる。プールの課題だが、ほかの委員の方も話されたが、このプールは町民プールと違う役割があると思う。施設は日々故障箇所がでたりすると思うが、予算をうまくとり、耐震化も終わっていると思うので、長い視野で整備を進めていければよいと思う。

○委員

トイレだが、和式・洋式ウォッシュレットの状況はどうか。

●事務局

本館は和式の古いものが多い。宿泊棟は、洋式がある。ウォッシュレットは多目的トイレについている。更新時期ではあると思うが、壊れているわけではない。

○委員

小中学校は、どうか。

○委員

ピンキリです。うちのところは、やっとな洋式はついたがウォッシュレットはない。隣のところは、最新設備でセンサー式のトイレになっているところもある。

○委員

ウォッシュレットのついていない小学校はないと思う。

○委員

教育大は、ウォッシュレットがついている。他の大学では便座を拭く洗剤のあるところもある。

○委員

自分の孫たちを見ると、自分の家にはウォッシュレットがついていて、和式のトイレのと

ころにいくと子供はびっくりすると思う。

○委員

うちの学校も同じですね。

○委員

そのような学校から来る子供であれば、大丈夫ですね。

●事務局

和式トイレを使うことも体験ととらえてもらえればと思う。

○委員

トイレの更新はそんなに急がない案件かもしれないですね。

○委員

着衣水泳は良いプログラムだと思う。初任研では AED を行うが、着衣水泳もセットで先生方の研修をできると良いと思う。そして、それを良いと思った先生に子供たちにもできますよと広報する。

●事務局

自分も着衣水泳の事業を担当したが、特別難しいことをするわけではなかった。なので、先生方も一回見ると、指導ができるようになると思う。ついでに施設も見てくださいと言いながら。指導者養成もこの施設のミッションの 1 つなので。

○委員

施設見学で来て、資格も取れてとなると良い。今、先生方は救急救命などの資格に関心が高い。高校の先生も 2 泊 3 日を 1 泊にしようと思ったが、こんな資格が取れるなら 2 泊にしようかなと考えるのではと思う。

初任研では 250 人が一度にやってくるが、どうか。

●事務局

みなが同時に入るわけではないと思うので、グループを分けたり、見学するなどできると思う。

○委員

維持管理に 450 万円ほど。しかし、ここにプールがあるのが良いというのがあると思う。

あるからプログラムを工夫できると思う。トイレは後回しにして。

●事務局

閉会宣言。